

# 多賀工業会関西支部会報

令和5年11月発行 発行人 川上 啓二 編集責任者/行正 隆俊

●事務局 住所 : 茨木市白川2丁目12-16 行正隆俊方 多賀工業会関西支部  
email : tagakansaisibu@gmail.com



●表紙写真説明 関西の酒蔵（大阪府）：「清鶴酒造」

大阪府高槻市富田の酒蔵です。江戸時代は全国に知られた酒処で、北摂3銘酒（富田、池田、伊丹）に数えられていました。最盛期には24軒もの酒蔵が栄えた所ですが、今は寿酒造とこの清鶴酒造の2つしか残っていません。ここは、地名から分かるように、良質の米と阿武山系からの良質の水が豊富にあり、おいしいお酒ができるので、酒造りが盛んになりました。残っている2つの酒蔵は何れも江戸末期の創業ですが、富田郷自体は、日本最古の銘醸地と言われるくらい、古くからお酒を作っていました。伏見と灘の酒のルーツは、富田の酒造りから、と言われていています。入手する機会があれば、一度味わってみてください。（行正 記）



寿酒造



清鶴酒造

## 目次

●表紙 関西の酒蔵（大阪府）：「清鶴酒造」	..... 1
●目次	..... 2
●令和5年度 関西支部の活動体制	..... 2
●令和5年度 関西支部定期総会報告	..... 3
●会員ひろば 日本の“ものづくり”の行方 —雑感— 市村 哲朗（院応用粒子線 H28）	..... 7
●特別寄稿 多賀工業会関西支部会報60号記念号に寄せて 伊勢山 宏（精密 S45）	..... 10
●60号特集 校歌、寮歌、逍遙歌 歌詞	..... 11
●会員だより	..... 15
●支部会員動向 支部会費納入者、寄付者、訃報	..... 16
●令和4年度決算報告	..... 17
●同好会だより ゴルフ同好会／ウォーキング同好会／テニス 同好会／セイリング同好会	..... 18
●大学の話題	..... 19
●支部長からのお願い 編集後記	..... 20

## 令和5年度：関西支部の新活動体制

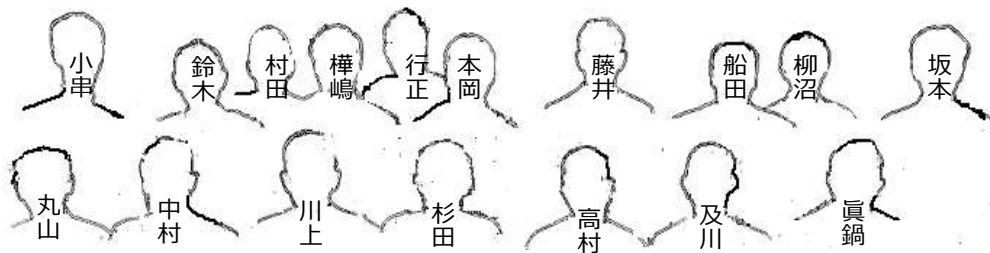
- \*支部長 : 川上 啓二(留任)
- \*幹事長 : 行正 隆俊(兼 副支部長)(留任)
- \*副支部長 : 柳沼 英哉(留任)
- \*会計 : 村田 健吾(新任)
- \*会計監査 : 高橋 昌之(新任)、樺島 徹男(新任)

○都合により、高橋幹事は、会計監査の村田幹事と交代し、樺島幹事と共に会計監査に就く。  
・萩原信夫 本部副会長

顧問 及川 紘 (金属 S38)  
幹事 川上 啓二 (機械 S50) 、柳沼 英哉 (化学 S42) 、行正 隆俊 (機械 S54)  
高橋 昌之 (精密 S44) 、村田 健吾 (電気 S51) 、萩原 信男 (院機械 S50)  
船田 順久 (機械 S42) 、鈴木 孝三 (精密 S45) 、小串 正樹 (院理 H27)  
岡 浩二 (院シス H7) 、伊藤 隆康 (機械 S54) 、赤塚 修三 (化学 S40)  
飯島 有 (院機械 S50) 、押川 正大 (機械 S54) 、西川 欣吾 (機械 S54)  
樺島 徹男 (院機械 S49)

- 幹事会（幹事16名。必要時は顧問交え役員会開催）  
支部活動のための企画・議案立案。現在 LINE 活用して活動中。
- 会報編集委員会（委員長：行正 隆俊）  
年1回（秋）の関西支部会報の企画、草稿、編集、出版
- 名簿編集委員会（委員長：川上 啓二）  
関西支部の名簿管理（住所変更など更新していく）。今年は新規会員の抽出年で見直し。  
58名の新規会員を登録しました。
- 総会準備委員会（委員長：船田 順久中心に幹事全員）  
総会の企画立案、会場手配などの諸準備、運営
- 支部活性化委員会（幹事全員）  
関西支部活動の中長期計画、会員のサービス向上、新入会員増加・交流促進
- 同好会活動（継続中）  
ゴルフ同好会 (世話役：鈴木) 、テニス同好会 (世話役：川上)  
セイリング同好会 (世話役：萩原) 、ウォーキング同好会 (世話役：柳沼)

# 令和5年関西支部定期総会開催



令和5年6月25日(日)10時30分より、コロナによる規制も緩和され、2回目の開催となる吹田市のパナソニックリゾート大阪にて関西支部総会が開催されました。出席者は、3年ぶりに本部および中国四国支部からの来賓と、関西支部会員17名でした。やはりまだコロナ禍の中、外出は控える声や、体力が落ち大阪まで来られなくなったという方もおられました。特別講演は、工学部の現状について、本部・杉田会長に講演いただきました。昨年は、全体に時間に余裕がなくせわしかったとの声が相次ぎましたので、今年は総会と懇親会で別々の部屋を借りることにしました。総会は、予約の関係で大きな部屋になってしまいましたが懇親会は昨年と同じ部屋です。

## 第1部. 総会

「関西支部の会員は、現在505名であり、昭和卒は40%、平成以降卒が60%となりました。年会費の納入者は16%に減少しており、会員への多賀工業会のアピールが必要と感じています。関西支部では、会報の発行や同好会活動を行い、それらの活動をHPにも掲載して情報発信を続けて、会員の参加増加につながるように努めております。」と支部長の挨拶後、議長として柳沼副支部長を選出し、議事を進めていきました。支部長より、令和4年度の活動報告を行いました。

### 1. 支部会報発行

第59号を令和4年11月に発行（総会資料2頁の「6月」は訂正します）。今回は名簿を見直した事もあり、会費納入の有無に関係なく全員（新規会員58人を含め、支部への参加もよびかけ）に発送しました。563部を発送しました。会報編集は自前で、印刷はラクスルを使用し費用を削減しました。眞鍋様、大西様、鈴木様3名に会員のひろばに投稿いただきました。ありがとうございました。

### 2. 4年毎の支部会員名簿の見直しを実施。新会員の洗い出しや、名簿を更新

本部会員名簿より関西住所者を幹事で手分けして洗い出し、新規に会員を名簿に追加。その後会報の返送（宛名不明など）分を修正。現会員数は合計505名であります。



大阪府：127名、兵庫県：157名、京都府：72名、滋賀県：75名  
奈良県：37名、和歌山県：32名、その他：5名(三重:3、長野:1、広島:1)

### 3. 支部総会議事承認



令和4年度決算報告、令和5年度事業計画、令和4年度予算案の議題について、総会にて承認いただきました。総会資料はHPに挙げております。

#### 第2部. 特別講演

今回は、来賓をお招きするのは久しぶりなので、本部杉田会長に、「工学部、茨城大学、多賀工業会の状況」のテーマで、講演頂きました。

茨城大学の状況は、本年度収入110億円、内60億円が国からですが年々国からの交付金が減少しています。8割が人件費で、1人当たり研究費は20万円以下。自分で獲得するよう言われます。文部省の評価で期待以上が無く期待以下がある、と酷評されているのが現状です。同一県内に筑波大がある点も、影響していると思われます。つくば市は今や人口で水戸市を抜き、発展が著しいです。日立市は日立色が少なくなり（三菱関係が増加）日立市の人口も減少しており、日立銀座もシャッターが多くなっているそうです。そんな環境の中、地域未来共創学の組織と、カーボンサイクルエネルギー研究センターが出来ます。

工学部では量子線科学や中性子線科学などの先端技術を研究しているが、学費は年間54万円と、有名私学に

比べると安い、就職先を考慮してか都内の大学に行く人が多いのも学生減少の遠因の一つです。就職も、推薦は少なく、自ら何社も探しているのが現状です。さて、入学倍率は機械学科で1.3倍程度ですが、今は農学部の方が倍率は高くなっています。

多賀工業会は、以前は会費納入率は40%だったが、少しくみを変え、今は90%の納付率で、後は寄付で何とか運用はできています。大学内の多賀工業会の会員は15名で、以前ほど協力は得られていないです。今後は他の学部の同窓会と合同して、校友会に統合の方向で進んでいます。他大学も同様のようです。



### 第3部 懇親会

今号では、総会の様子を少しでも知って頂こうと思い、懇親会で、出席者の近況その他思い出など語って頂いた事を掲載してみました。どんな話がされているのか、知らない方ばかりでも心配なくお話できる事が、お分かり頂けると思います。是非ご参加を検討ください。尚、一部の方が掲載出来なかった（メモ忘れ）事をお詫びします。また順不同、話の内容に齟齬がある場合は、編者の責任です。ご容赦ください。

#### 柳沼 英哉（化学 S42）

工業化学を卒後一旦会社に入りまして阪大ドクター卒業後製薬会社に就職。創薬研究に従事したが、結局やってもやってもできなかった、効かないという言葉ばかり聞いた思い出があります（注、できる方が少ない）。本社で研究推進をやって退職。それから10年位別の会社で、臨床をやって70で退職し、今はゴロゴロして過ごしています。

#### 中村 忠雄（電気 S35）

昭和39年に肺炎にかかり半年休みました。就職し、財務・資金ぐりを担当。工学部出なのになんで？と思われるかも知れませんが、起きて転んで生き延びて、今がある。大阪と広島に支部が無かった時代で、ひまだったので広島の高村さんの所に押しかけ、中四国支部の設立に寄与した。マツダに出入りし、一杯注文をもらったが、系列外の銀行からの資金で請負だったので、系列の銀行から怒られて、担当を外された。その後ミャンマーにマツダ経由で工作機械を輸出したが行方知れずで、どこに行ったか今になっても謎です。

#### 坂本 眞一（電気電子 H9）

九州・宮崎は延岡の生まれだが、宮崎弁はしゃべれません。学力相応の茨大に（実家を出たいのもあった）。大学で半導体研究をし、パナソニックに入社し、半導体をやりたかったが、生産技術を担当した。手を動かすのが好きなので、管理職になる年になり、少し考えています。

#### 鈴木 孝三（精密 S45）

今日は色々なお話を聞けて良かったです。私は四国の出で、新居浜工業高校から茨大に進み、パナソニック。大学では卒研で山田教授の元で、前会長の塩幡さんと最適制御を研究しました。会社では、生産技術本部で、パナサート（電子部品実装機）を開発。1988から1994まで米国シカゴ。ジャパンアズナンバーワン、景気のいい時代でした。これからも頑張っていきたいです。

#### 眞鍋 宜夫（機械 S39）

三菱重工に7人が同時入社。今は誰も多賀に残っていません。今は総会出席者名簿で3番目になってしまった。もう少し若い人にも来て欲しいですね。40から絵画同好会に入りました。今日、婦人画を持ってきたけど、プロジェクトの準備が出来ないのでお見せできないのが残念です。講演で大学の現状を聞いて、日本の現状と同じだと思う。私は憂いてい

ます。今月（6月）10日に539クラス会がありました。鈴木卓二（元教授で多賀工業会会長もやった）が、鮎川に産廃場を作るのに、反対運動をして元気で頑張っている、すばらしいです。

#### 船田 順久（機械 S42）

天の声に、「何で行くの？（同窓会に）」、多賀工業会があるから、私があるのだ。寄付するというと「何で寄付するの？」と天の声。坂本さん、参加してくれてありがとう！三洋電機・洗濯機工場のみで、洗濯機、食洗器のみを作ってきた。厳しく期日は守らなければならないが、20何年もやると、疲れます。

#### 樺嶋 徹男（院機械 S49）

茨城大学に入った理由は、国立に行く必要があり、年1、2万円の授業料で私学の1/10くらいだったからです。近況は、洋ランの栽培を趣味としています。

#### 藤井 裕爾（機械 S49）

茨城出身、日立で過ごしました。茨城県人会に入っていました、茨城空港を利用したことのある方？（2人ほど挙手）。あそこは、自衛隊百里基地を使って、茨城空港として利用したものです。今回初めて旅行で使いました。袋田の滝に初めていき、中々良かった。これからは旅行をしていきたいと思います。

#### 小串 正樹（院理学 H29）

最初パナソニックのモーター研究所に入ってから、60前にミネベアの静岡・袋井ミネベア。平成27年に茨大社会人学生コース（ドクター）を卒業しました。今は浜松モーターベンチャー企業で働いています。資金繰りで苦労、特許事務も自分でやるなど大変。現在、特許財産権管理者資格取得を目指しています。

#### 本岡 豊（精密 S46）

最近、茨城を通り越して福島原発通りに、4月末に行ってきました。南相馬から悲しいくらい桜めぐり、誰も住んでいない、観光客と廃屋めぐりの人ぐらいいです。海岸ベリは更地です。茨城の日立は今は三菱パーク。住友電工がケーブルで進出しています。平和、銀座各通りも惨憺たるありさまでした（シャッター街）。下宿先の河原子には、旅館が一軒だけ残っていました。村田製作所に勤めていたが、どどん北に進出（長野から宮

城、岩手のクリスタル会社を買収、新日本無線ソニー等の会社の電池を買収、発振器の業績はいいが（スマホ下火）、電池事業はどうなるか心配です。

### 村田 健吾（電気 S51）

自動車部にいました。入りびたり。嫁さんとも本部自動車部で知り合いました。溶接鋼管を作る会社で細管一筋。メインは自動車で、トヨタに直納がありトヨタ内加工で亀裂が入ったので、原因対策を説明、一杯々々でした。トヨタは一台でも不良出すと人命にかかわるということで厳しかったです。その反動で買った車のサンルーフが動かなくなった時はレポート要求など厳しく対応。趣味は嫁が織物なので自分はそれをかばんにして、フリーマーケットに出品しています。

### 丸山 朝男（精密 S44）

日立市生まれの日立育ちで日立一高卒。中学時代は体操部で体操の強い一高に進学しました。日立女子高にいいコーチがいたので良かったです。茨城県体で跳馬3位。でも新しい先生が来てレスリングにスカウトされたんです。オリンピック（昭和39年）でフィリピンが茨大に来た（練習場）、1年後にレスリングでフィリピンに行き親善試合をしました。もう国賓待遇でした。茨大に入ったのは親から家から通える範囲の所しかだめと言われ、茨大しかなかった。現役は二人しか通ってないのでさすがに勉強しました。合格はラジオで知りました。椿本チェーンに入社して大阪に行きました。東京、埼玉や韓国など色んな所に行きました。55でやめて、61の時会社で世話になった人に声がけされ、東大阪に再就職、結局71まで働きました。友人に恵まれ、今度鳥取にイワナ釣りに行きます。熊に注意です。



飲み放題でしたが、減りが早かったです。食べるより飲むで、皆若い・・・





## 日本の“モノづくり”の行方 -雑感-

～技能五輪国際大会の技術エキスパートを経験して～

石村 哲朗 (院応用粒子線 H28)



### 1. はじめに

この度は、執筆依頼を賜り誠にありがとうございます。

1980年に(株)日立製作所に入社して以来、私の経歴は重電の“モノづくり”の生産技術開発の日々であったと思います。現在は日立を退職して京都で技術士事務所を開設しています。

茨城大学との関わりは現役で働いていた日立工場・日立工業専門学院時代からで、社会人ドクターとして在籍し学部・修士の人たちと一緒に研究に取り組みました。そこでは私が日立で携わっていた製品についても紹介させていただき、工学的な検証で“モノづくり”につい

て学び直す良い機会となりました。改めてご指導賜りました先生方に厚く御礼申し上げる次第です。

日本経済は、バブル崩壊後「失われた30年」と云われて久しいですが、その後も経済低迷が続き、賃金上昇は未だ小幅にとどまっています。この間に日本のモノづくりも大きく変貌してきたと感じています。ここでは、紙面の都合でグローバルな観点から私の経験した技能五輪世界大会を照準に日本のモノづくりの変わり様を今後の行方を含め雑感として紹介させていただきます。

### 2. 技能五輪国際大会とは

技能五輪国際大会は、幅広い職種の青年技能者(原則22歳以下)を対象とした世界レベルの唯一の技能競技大会で、職業訓練の振興と技能水準の向上、技能者の国際交流・親睦を図ることを目的に2年に一度開催されています。日本選手団は1962年から参加しています。

2021年10月に中国・上海で開催を予定していた「第46回技能五輪国際大会(上海大会)」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となり、その代替として1年遅らせ、特別開催として2022年9～11月にかけて、競技職種ごとに日本を含む15か国で開催されました。日本では京都で10月15～19日「情報ネットワーク施工」・「光電子技術」・「再生可能エネルギー」の3職種の競技が実施されたので観戦してきました。〔京都大会パンフレット参照〕

日本選手の競技結果は、「情報ネットワーク施工」…金、「光電子技術」…銅、「再生可能エネルギー」…金で3職種全てメダルを獲得。今回15か国で分散して行われた大会の日本選手団(全51職種)の最終成績は、金…8個、銀…5個、銅…5個でした。各国の金メダル獲得数の順位は、1位中国(21個)、2位韓国(11個)、3位日本(8個)となり、中国、韓国の台頭が目立ちました。

歴史を振り返ると1970年代は日本が1位を独占、2、3位が欧州の国々。1980年代が1位韓国、2位日本、3位台湾、1990～2015年は1位韓国、2



2022年10月 京都大会パンフレット

位台湾、3位以降日本、欧州の国々と変わってきました。2017年以降は中国が1位を独占しています。これらの結果は、失われた30年(1990～2020年)で国内総生産(GDP)は日本が1.5倍増に対し、米国が3.5倍増、中国が37倍増であること、また生産拠点が海外(中国)に移っていった時期にリンクしています。職種数も1967年(スペイン大会)が20職種、1997年(スイス大会)が38職種に対し、2022年が51職種で日本が参加し始めた頃に比べ約2.6倍になっています。職種も「航空機整備」・「移動式ロボット」・「ウェブデザイン」・「ITネットワークシステム管理」・「光電子技術」・「再生可能エネルギー」等の時代を反映した新職種が加わっています。

### 3. 私と技能五輪との出会い

私は長年、重電機器の溶接工場で働いていました。そこで現場の溶接士の人たちと一緒に巨大な溶接構造物の発電プラントをはじめ、核融合装置・宇宙機器・加速器等の重要機器の生産技術を担当。

QCD 全てを見なくてはならず、特に Q(Quality)の重要性は群を抜き、製品公差は厳しかったです。

仕事を通しては「自分に正直に」・「妥協を許さない」・「技術-技能の両輪」の重要性を叩き込まれました。

また、モノづくりの一步は“人づくり”ですが、一朝一夕にできないのが人材教育です。現場のマネージャになってから技能五輪選手【溶接職種】の育成プロモータを引き継ぎ国内外の大会に選手を送り出し、私自身も2大会(第34回スイス大会、第35回カナダ大会)連続して日本国代表技術エキスパートとして派遣されました。それらの大会で溶接職種は参加国が20か国と多く、選手たちの熾烈な戦いを目の当たりにしました。

競技場のブースも多く、その設営・機材・試験片等の準備だけでも大変です。選手は工場の訓練センターで日頃練習したスキルで課題製作に果敢に取り組みますが、技術エキスパートは競技委員であり審査も行います。

公平・中立の立場から自国の選手に競技中、単独で気軽に声をかけられませんでした。当時日本は溶接でガス溶接職種4名、電気溶接職種3名の金メダリストを出しており、これがメディアの目に留まり国内での

### 4. 『技術』と『技能』はモノづくりの両輪

話は変わりますが、機械工学の材料強度学に「最弱リンクモデル」による一般的規則があり、これは材料内に無数に存在する欠陥のうち、最弱の欠陥から破壊が生じ、それが不安定的に進展することで材料全体の強度を決めるとした考えです。

モノづくりのサプライチェーンにおいても、調達・設計・製造(生産技術・技能)・品証のうち一箇所でも弱

### 5. 競技後のエスカーション -忙中閑あり-

大会競技の後、各国の選手団は「エスカーションツアー」(小遠足)が組まれています。技能五輪国際大会の憲章(目的)には『青年技能者の国際交流・親善を図る』があります。競技後で負けた選手にはやや辛く感じるかもしれませんが、国や職種を超えた世界の若者たち(22歳以下)が集う絶好の交流の場です。

昨年(2022年)秋はまだ日本でもコロナ禍が終息されていない時期でしたが、昨秋の大会関係者にあとで聞いたのですが、3職種が日本の京都で行われた理由に次の3つが挙げたそうです。それは、①大会会場が比較的容易に準備できたこと②大勢の外国人対応のホテルが準備できたこと③エスカーション(遠足/観光)できる場所があることだったそうです。



’22 米国:オハイオ会場

【溶接職種】競技状況



【溶接職種】課題一例

圧力容器

訓練風景からスイス大会本番会場まで、カメラが回りその模様がNHKの番組(NHKスペシャル)で放送されました。技能五輪大会後、選手は職場に戻り重要製品の溶接を任せ第一線で活躍しています。

昨年、米国会場で行われた【溶接職種】で日本は15年振りに金メダルを獲得しました。以前関係した者として嬉しい限りです。〔溶接状況の写真参照〕

技能五輪は先輩から後輩へと連綿と受け継がれて行きます。技能五輪で磨いたスキルは次の実務で大いに発揮されていると思います。それは、①新製品開発時の試作開発 ②製品事故・不具合発生時のトラブルシューティング対応 ③機器のメンテナンス技術へ応用 ④後継者育成のお手本・指導者となる等です。

点(問題)があるとそこがボトルネックとなり本来の健全連鎖が発揮出来なくなります。やはり全体のバランスが大事で、特に製造に関しては『技術』(知識)と『技能』(スキル)の両輪が大事だと思います。また、例え有資格者が作業しても品質にばらつきが出る場合がありますので、品質保証するための許容値の検証も重要であり、これをフィードバックしたものが真のモノづくり技術と考えます。



嵯峨 大覚寺・大沢池



首都・東京でも良かったのですが、コロナ禍で人の密を避けることと、外国の人たちから見ると“京都”は知名度も高く、上記の③の理由でとても魅力的だったのかもしれない。

京都で良い点は古都でありながら良く手入れされた癒しの場があることかと思います。昨秋の大会が春の開催でなくご覧いただけなかったかと思いますが、嵯峨の『大沢池』の桜開花時は私の心の癒しの場に

なっています。メジャーなエリアから少し離れていますが、静寂の中に桜の華やかさがあり私は毎年訪れています。紹介しておきます。〔写真参照〕

京都は伝統を重視しつつメンテナンスが良く施された場所がたくさんあり、21世紀の今でも歴史が生き続けていると感じています。技能五輪の職種に【造園（ガーデニング）】がありますが、散策時整備された庭園を見ると技術の継承の重要性を痛感しています。

## 6. おわりに

(1) 溶接の例で言いますと、溶接は製造に欠かせない基盤要素技術です。鋼板から立体の溶接構造物を自らの技量で完成した時、大きな感動があります。

このようなモノづくりの醍醐味というものが根底にあることを忘れてはなりません。

国内では若年層人口の減少に伴う技能伝承の課題が継続している現在、連綿と受け継がれている技能五輪はその教育の一翼を担っていると言っても良いと思います。そして国際大会は海外の若手技能者との交流を持つ良い機会でもあり、その為にもこの五輪の火は灯し続ける必要があると思います。

そして将来、海外プロジェクト等で日本の若者と海外の人々が一緒に仕事をするようになるかも知れません。事業の難しさはあるかもしれませんが、海外の仲間とモノづくりの感動を得て働き甲斐のあるグローバルな職場環境が出来る可能性もあると思います。

(2) 技能五輪国際大会を通し外国の若者が一堂に会し果敢に日頃の腕を競う姿は頼もしい限りであり、これからはグローバルな『技術』『技能』の両輪の時代となる兆しも感じています。即ち(1)項の一例のように若い人(指導者)が世界に出て海外の若手技能者と一緒になってモノづくりをして行く時代になるのかも知れないと感じています。将来日本人が育成した外国技能五輪選手が出てきてくれたらと考えています。

(3) 次回第47回技能五輪国際大会は、2024年9月10～15日フランス・リヨンで開催され、日本選手団は約30職種に参加予定です。「情報ネットワーク」「3Dプリント」「鉄道車両技術(保守)等」のDXやSDGsにも繋がる新職種も新たに設定されます。若い人には21世紀型“モノづくり日本”を目指して頑張りたいと思っています。

本文中に、一部私見が入っていることをご了承ください。

末筆ではございますが、多賀工業会関西支部の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

### 参考文献

[1] 中央職業能力開発協会「技能五輪国際大会」ウェブサイト

[2] 石村、坂井「人材育成！溶接技能訓練への取り組み」溶接技術、1998年2月号

関西支部が正式に誕生したのが1970年(昭和45年)大阪万博が開催された年でした。非公式には昭和30年代から工専の卒業生の集まりがあったようです。総会の案内が届いたので大阪在住の友人を誘い4人で出席しました。

学生時代の楽しい思い出、特に寮での生活、生涯の友との出会いなど思い入れの深い4年間を過ごしましたので嬉しい案内でした。

はっきりした参加人数は覚えておりませんが50人以上出席して居られたと思います。受付をしていたのが40年卒で小生と同期の電気の大貫さんと伊藤さん二人でした。工専の卒業生が多く、特に18年~25年の卒業生が中心だったと記憶して居ります。初代の支部長が18年卒の斉藤さん、副支部長は19年卒の古矢さんでした。幹事には18年卒の村上さん、西村さん、蓮見さん、島津さん、22年卒の荘司さんが居られたのを覚えております。皆さん未だ40代の後半でした。会の終わりに古矢さんから支部の手伝いをしてくれと言われ、爾来50年余り幹事を務めさせて頂きました。

ゴルフ会も開催されており斉藤・村上・西村・蓮見さんの4名から寄贈された立派な銀製のカップがあったのですがいつの間にか行方不明になってしまい、またゴルフ会も自然閉会と成ってしまいました。当時の支部会の仕事と言えば年1度の総会の開催でした。一番若い小生が会員の洗い出し会場との交渉、会員への案内状の送付等を務めました。

1987年に支部長の斉藤さんが急逝され、2代目の支部長に村上さんが就任されました。支部会員相互の結びつきを深めるためには支部会報の発行が絶対必要だとの支部長方針が出され、1990年に創刊号の発行となりました。

た。丁度村上さんの会社に松居さん(S26機)が転職されており、永い間松居さんお一人で原稿の依頼、編集、印刷所との交渉、会報の発送等をして頂いておりました。1995年に3代目の支部長に来栖さん



(S28機)が就任、2001年に伊東さん(S37化)が4代目の支部長に就任され、小生に編集の仕事が回ってきました。20号から50号くらいまで皆さんの協力を得ながらなんとか務める事出来ました。当時PCが普及してきましたので松居さんの時代に比べると大変効率的になりました。2005年に及川さん(S38金)が5代目の支部長に就任され、翌年から支部のゴルフ会が新たに開催されるようになり現在に至っております。中部支部との懇親ゴルフ会も開かれて居ります。また、2013年にウォーキング同好会が発足し、第1回目は有馬温泉を散策しました。永年世話役をしてくれました田桑さん(S59化)が関西を離れたのとコロナ禍の影響でここ数年実施されて居りませんがまた復活するとのニュースは聞いております。

その後支部長は6代目に高橋さん(S44精)、7代目に鈴木さん(S45精)、8代目に萩原さん(S50院機)、9代目に川上さん(S50機)が就任、現在に至って居ります。

会員が高齢化して居り、次代を支えてくれるべき、特に平成年間の卒業生の参加がまだまだ殆どゼロに等しいくらい少ない現況を悲しんでおります。皆さん日立での楽しい思い出など無かったのでしょうか。

最後に寄稿に際し、行正さんに色々調べ事をして頂きました。感謝を申し上げます。



創刊号



30号



60号

# 60号記念特集 校歌、寮歌再び

懐かしい、知らなかったなど、いろんな思いがあるでしょう。多賀工業会本部 HP で PC 演奏が聞けます。

<https://taga-kogyokai.ibaraki-univ.jp/支部・会員情報/校歌・寮歌/>



## 茨城大学校歌

♩=116 壯大に

土岐善麿 作詞  
平井康三郎 作曲

て ん ち に あ ま ね き し ん り を も と め て く  
あ ら た に あ た し き し や か い に た つ べ く

せ い し ゃ ん し ほ う に あ い よ る と こ ろ れ  
ん と し れ き し の あ ふ か き を ほ こ

ひ と し く き ほ う の ひ と み を あ ぐ れ ば や ま  
か と さ す や ば い か の ひ か お り も あ ふ れ て け ん

あ り う み あ り か わ あ り の あ き り  
こ う ゆ う じ ゃ う ち か あ ら と い

ふ み ゆ く と じ ゅ う の み ち ひ ろ し  
へ い わ と ぶ ん か の か せ き よ し

い ば ら ぎ だ い が く わ れ ら こ ぞ れ り が く え ん  
い ば ら ぎ だ い が く わ れ ら こ ぞ れ り が く え ん

わ れ ら の た た 一 め に あ り  
わ れ ら の た た 一 め に あ り

### 茨城大学校歌

土岐善麿 作詞  
平井康三郎 作曲

天地にあまねき 真理を求めて  
青春四方に 相寄るところ  
ひとしく希望の ひとみをあぐれば  
山あり海あり 河あり野あり  
踏みゆく自由の 道ひろし

新たに正しき 社会に立つべく  
伝統歴史の 深きを誇れ  
かぎすや梅花の 薫もあふれて  
健康友情 力と意気に  
平和と文化の 風清し  
茨城大学 われらこそれり  
学園われらの ためにあり



# 多賀工業専門学校校歌

作詞 岡本昌夫  
作曲 平井保喜

♩ = 94 元気あふれてさけれど端正に

1) おーそらーたかくひかりみち  
かぜさつさつとふくところ  
ひたちたがさとおかのうえに  
びょうぼうーはるかこんじょうの  
おーうなぼらーをのぞみつつけん  
せーんたてりたがこーこー  
2) たがこーこー

## 多賀工業専門学校校歌

岡本昌夫 作詞  
平井保喜 作曲

一、大空高く 光満ち  
風飄々と 吹く所

常陸多賀里 岡の上に  
渺茫遠か 紺青の  
大海原を 望みつゝ  
儼然立てり 多賀高工

二、進まん道は 工業の  
新しき野ぞ たゆみ無く  
共に磨かん 学と業

和衷創造 則として  
学風高く 打ち立てん  
研鑽一途 多賀高工

# 歌 寮 寮 洋 吼

♩ - 109

くろしおほゆるとうかいのせいとうはくきを  
 そうほうひょうりきわみなきふじんをとおくー

かむところまゆみのみねのみどりしてけいりゅう  
 そとにしつせいたいむせるけんがいたちて

きよきあぶがおかせいしゅんここにつどいきて  
 てんかをこぼうせばけいりんくもとむねにわき

たかきりそうのゆめむすぶたかきりそうのゆめむすぶ  
 しょうらいたかくなみにわすしょうらいたかくなみにわす

## 吼 洋 寮 寮 歌

小坂谷武宏 作詞  
 録尾 武男 作曲

- 一、黒潮吼ゆる東海の  
 真弓の峯の緑して  
 青春此處に集い来て
  - 二、忽忙漂離極みなき  
 青苔むせる嶮崖に  
 経緯雲と胸に湧き
  - 三、錦纏深き鮎川の  
 追遥暫し若人の  
 誰にか問はん熱涙の
  - 四、想いは遠し高鈴の  
 栄枯の夢の消え残る  
 老松破石寂として
  - 五、嗚呼蒼渺の大洋に  
 鯨鯢躍る白浪に  
 昂然空に嘯けば
  - 六、悠久青史窮なく  
 科學の精華燦爛と  
 嗚呼いざ共に謳歌せん
- 青濤白砂を唾む所  
 溪流清き阿武ヶ丘  
 高き理想の夢結ぶ
- 浮塵を遠く外にしつ  
 立ちて天下を顧望せば  
 松嶺高く波に和す
- 流れに浮かぶ月冴えて  
 影銀連に映る時  
 瞳に溢るゝ感激を
- 影夕陽に映ゆる項  
 古城の跡に佇めば  
 俯仰に應うる聲もなし
- 久遠の光我敷かん  
 飛龍の霸圖を畫きつゝ  
 星亦永久の光輝あり
- 囀奏茲に陽を受けて  
 今望洋の丘に咲く  
 希望に溢るゝ我が前途

# 吼 洋 寮 逍 遥 歌

作詞 塩田信雄 (専金22)  
作曲 塩田信雄 (専金22)  
採譜 宮澤信夫 (学機37)

♩ = 72 ゆっくり

あかつきかけて におうなる さくらの花は なにものふが  
からあいあかく えんねつに しやくねつひ とをうますとも

ひそかにこめし おもいこそ わがわこうどの こころなれ  
われらがじちを いかにせん かがくのさほを あゆむのみ

こじょう ろう はるのつき きよきかな そのひかり  
おうせ はま なつ のよは ともになけ ひとのよを

## 吼 洋 寮 逍 遥 歌

塩田信雄 作詞

- 一、 曉かけて匂うなる  
ひそかにこめし想いこそ  
五城樓春の月  
櫻の花に武士が  
我若人の心なれ  
清きかなその光
- 二、 鶴頭赤く炎熱に  
吾等が自治を如何にせん  
会瀬浜夏の夜は  
灼熱人を倦ますとも  
科學の巨歩を歩むのみ  
共に泣け人の世を
- 三、 秋天山は紅葉して  
濁れる浮世逃れ来て  
星深く永久の夜に  
漁火影をひそむとも  
思索の跡を尋ぬべし  
真理こそ伝うなれ
- 四、 響める野分に木枯せし  
かくれし悩み注ぐなり  
望洋の健児吾れ  
木草も生の営みに  
歡喜は常に苦難あり  
救わなん國民を



# 会員だより（令和5年度定期総会出欠はがきより）

氏名	卒業 学科	卒業 年次	近況	氏名	卒業 学科	卒業 年次	近況
荘司 正明	電気	S22	当方、今年3月で95才になりました。もしや関西支部で最高齢でしょうか？小さな不調は多々ありますが基本的に元気にしております。ただ何分高齢のため遠方への外出は控えておりますので、残念ながら欠席させていただきます。盛会を祈っております。	加藤 実	機械	S47	近くの大学のシニアコースに通い、主に日本史や世界史を学んでいます。受講生の会を立ち上げ、自由な情報交換を楽しんでいます。
吉田 昇	精密 機械	S26	足が不自由なため、心苦しいがよろしくお願いします。時節柄両々も身体をご自愛下さい。	西村 寿夫	精密	S48	初めての出席をと思いましたが当日は町内大掃除日で欠席は5000円徴収されます。数少ない交流の場でもあり、残念ながら総会は欠席します。来年は重ならないといいのですが。
池崎 学	電気	S32	89才になりました。お陰様で元気に過ごしています。妻と2人の生活で長時間の外出を控えております。頑張るって会の永続を！！	齋藤 進	機械	院S49	昨年、亡妻の3回忌法要を済ませました。
横山 茂	電気	S35	小生、この4月に米寿を迎えました。心身共に衰えを感じております。申し訳ありませんが、この度の総会は欠席させていただきます。皆様よろしくお伝えください。	森 隆	情報	S52	コロナの流行が始まった2020年3月末に退職し、家庭菜園で野菜作りなどをしています。冬場に閉じこもっていて体調が悪化したので運動を少しでもするように心がけています。
中村 忠雄	電気	S35	幹事の皆様には、いつも大変お世話になっております。総会に出席させていただきますので、宜しくお願い申し上げます。	酒井 典夫	電子	S56	市の委託で時々セミナーの企画等をしております。又会社のOB会の役を引き受けており、日々何かと忙しくしております。
岡山 伯匡	電気	S36	いつもお世話様です。神経痛がひどく、申し訳ありませんが欠席致します。皆様そして工業会のますますのご発展を。	品川 雄功	工業 化学	S60	本年3月末で日本たばこ産業(株) 医薬総合研究所を定年退職しました。体力維持のためにランニングを続けています。
新田 陸夫	精密 機械	S37	あと1か月余りで84才になります。体力低下を痛感しておりますが何とか元気に過ごしております。下手なゴルフ等を楽しみながら健康寿命を伸ばして行きたいと思っております。	大西 光一	精密	S61	旅行と重なったので欠席します。
難波 暲平	電気	S37	歩行困難につき、今後参加無理の為、連絡も無用として頂きたい。永い間ありがとうございました。	小林 理伸	精密	H03	活動ありがとうございます。
及川 紘	電気	S38	支部長並びに幹事の皆様のご活躍感謝しております。	須藤 康之	短工 業化 学	H04	現在北海道芦別市にて仕事しています。今後ほどの支部に所属すればよいのでしょうか！⇒関西支部所属を打診。
加藤 紘	電気	S39	妻の介護に手間を取られている毎日です。会報は本部・支部共に見るのが楽しみです。	岡 浩二	システ ム	院H07	特別講演聞くことができず、また皆さんと意見交換できず残念です。
石毛 忠志	電気	S40	脊柱管狭窄症のため歩行が不自由な為 遠出ができません。	吉田 淳	院都 市シス テム	H12	会報楽しみにしております。
赤塚 修三	精密 機械	S40	抗がん剤での治療が終わりひとまず元気にになりました。免疫力が低いままなので行動範囲が限られてきました。	石村 哲郎	院応 用粒 子線 科学	H28	当日、所用の為、総会は欠席させていただきます。現在、京都市内で技術士事務所を開業しています。博士（工学）、技術士（金属部門）。モットーは“安全・安心を技術でサポート”です。今後ともよろしく願い申し上げます。
伊勢山 宏	電気	S40	体調の不良が続いており、今回は申し訳ありませんが欠席いたします。皆様よろしく。				
丹治 能彦	電気	S43	ご盛会を祈ります。				
石井 良夫	電気	S44	元気にしています。盛会をお祈りします。				

# 支部会員動向 令和5年度支部会費を納入、寄付頂いた方、及び訃報

## 令和5年度 支部会費を納入頂いた支部会員氏名

荘司 正明 (電気 S22)	黒澤 清隆 (精密 S40)	川上 啓二 (機械 S50)
吉田 昇 (精密 S26)	伊勢山 宏 (化学 S40)	山口 信之 (金属 S51)
斎藤 信 (電気 S31)	関本 和也 (金属 S41)	村田 健吾 (電気 S51)
池崎 学 (電気 S32)	船田 順久 (機械 S42)	森 隆 (情報 S52)
佐々木 七郎 (原動 S34)	柳沼 英哉 (化学 S42)	押川 正大 (機械 S54)
横山 茂 (電気 S35)	丹治 能彦 (電気 S43)	伊藤 隆康 (機械 S54)
中村 忠雄 (電気 S35)	丸山 朝男 (精密 S44)	西川 欣吾 (機械 S54)
小内 弘 (短電気 S36)	石井 良夫 (機械 S44)	行正 隆俊 (機械 S54)
中島 敬吾 (電気 S36)	高橋 昌之 (精密 S44)	角江 司 (化学 S55)
岡山 伯匡 (電気 S36)	鈴木 孝三 (精密 S45)	酒井 典夫 (電子 S56)
五味 洵 勇 (金属 S37)	矢野 文敏 (機械 S46)	林 孝行 (機械 S57)
新田 陸夫 (金属 S37)	本岡 豊 (精密 S46)	青木 均之 (機械 S58)
大島 信康 (化学 S37)	林 清継 (精密 S47)	品川 雄功 (化学 S60)
大里 忠義 (機械 S38)	加藤 実 (機械 S47)	大西 光一 (精密 S61)
石井 俊一 (電気 S38)	石田 勝美 (機械 S47)	小林 理伸 (精密 H03)
及川 紘 (金属 S38)	宮崎 真 (短機械 S48)	坂本 真一 (電気電子 H09)
眞鍋 宜夫 (機械 S39)	西村 寿夫 (精密 S48)	吉田 淳 (院都市 H12)
小林 紀勝 (機械 S39)	岩瀬 裕雄 (精密 S48)	永岡 賢一 (電気電子 H17)
加藤 紘 (化学 S39)	樺嶋 撤男 (院機械 S49)	小串 正樹 (院理学 H27)
中島 元生 (化学 S39)	藤井 祐爾 (機械 S49)	石村 哲朗 (院応粒 H28)
赤塚 修三 (化学 S40)	首藤 英明 (機械 S50)	

## 令和5年度 ご寄付を頂いた支部会員氏名

荘司 正明 (電気 S22)	船田 順久 (機械 S42)	首藤 英明 (機械 S50)
吉田 昇 (精密 S26)	柳沼 英哉 (化学 S42)	川上 啓二 (機械 S50)
斎藤 信 (電気 S31)	丹治 能彦 (電気 S43)	村田 健吾 (電気 S51)
池崎 学 (電気 S32)	丸山 朝男 (精密 S44)	森 隆 (情報 S52)
佐々木七郎 (原動 S34)	石井 良夫 (機械 S44)	伊藤 隆康 (機械 S54)
横山 茂 (電気 S35)	高橋 昌之 (精密 S44)	西川 欣吾 (機械 S54)
中村 忠雄 (電気 S35)	鈴木 孝三 (精密 S45)	行正 隆俊 (機械 S54)
新田 陸夫 (金属 S37)	本岡 豊 (精密 S46)	角江 司 (化学 S55)
石井 俊一 (電気 S38)	林 清継 (精密 S47)	青木 均之 (機械 S58)
及川 紘 (金属 S38)	加藤 実 (機械 S47)	品川 雄功 (化学 S60)
眞鍋 宜夫 (機械 S39)	石田 勝美 (機械 S47)	大西 光一 (精密 S61)
小林 紀勝 (機械 S39)	宮崎 真 (短機械 S48)	坂本 真一 (電気電子 H09)
加藤 紘 (化学 S39)	西村 寿夫 (精密 S48)	吉田 淳 (院都市 H12)
赤塚 修三 (化学 S40)	岩瀬 裕雄 (精密 S48)	小串 正樹 (院理学 H27)
黒澤 清隆 (精密 S40)	樺嶋 撤男 (院機械 S49)	石村 哲朗 (院応粒 H28)
伊勢山 宏 (化学 S40)	藤井 祐爾 (機械 S49)	

### 訃報 一心よりお悔やみ申し上げますとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします—

伊藤 克洋 様 (電気 S40)	(2022?)	ご逝去
黒田 剛宏 様 (機械 S43)	(2022/11/17)	ご逝去
中島 健吾 様 (電気 S36)	(2023/08/13)	ご逝去
市川 隆敏 様 (機械 S37)	(2022/09)	ご逝去

# 令和4年度決算報告

## 多賀工業会関西支部 令和4年度決算書

R4.4.1～R5.3.31

収入の部	1. 前期繰越金		499,696
	(1) 銀行預金	460,002	
	(2) 郵便預金	12,654	
	(3) 現金	27,040	
	2. 支部年会費		313,000
	(1) 年会費 79人	158,000	
	(2) 寄付 62人	155,000	
3. 多賀工業会本部より支部支援金	43,900	43,900	
4. 支部総会		140,000	
(1) 懇親会費(支部会員 18人)	140,000		
(2) 本部、他支部(中部、中国四国)からの祝金	0		
5. 広告収入		0	
会報第 59号	0		
6. 利息	4	4	
	合 計		996,600
支出の部	1. 支部総会費		114,722
	(1) 会場、懇親会費用 18人	104,722	
	(2) 来賓土産代	0	
	(3) 講師謝礼代	10,000	
	(4) 役員会会費	0	
	(5) 写真代・送料	0	
	2. 支部会報発行費用		117,914
	・会報第59号(印刷、発送費) 全会員に発送	117,914	
	3. 会合費		0
		0	
	4. 幹事会費、役員会費		27,788
	・4回開催(室代、食事代、交通費)	27,788	
	5. 通信費(総会出欠返信ハガキ料金等) 総会案内108通	15,939	15,939
	6. 支部会費振込手数料 66口	11,766	11,766
7. その他		9,693	
(1) 支部活性化	0		
(2) 事務用品購入(資料印刷等)	9,693		
(3) 銀行振込手数料	0		
支出計		297,822	
次期繰越金		698,778	
(1) 銀行預金	660,006		
(2) 郵便預金(振替通知書で管理)	15,788		
(3) 現金	22,984		
	合 計		996,600

会計担当 高橋 昌之(精密 S44)

令和4年度多賀工業会関西支部の会計は、すべて正確に報告されていることを認めます  
 会計監査 村田 健吾(電気 S51)



## 同好会だより

### セイリング同好会

世話役 萩原（院機械 S50）

一人で瀬戸内海から外海を通り五島列島の間を数多く、往復しますますヨットの楽しさに惹かれて  
います。セイリングの楽しさを、多くの人に味わっていただきたいです。

同窓生、その家族が対象で、中学生以上で、小学生は父兄同伴なら大丈夫です。人数は4人  
まで（ライフジャケットあり）です。費用は特に不要（飲食は自分で）。申込は世話役に連絡ください  
（日程等は要調整）。

TEL : 080-7016-9061 email : [nobuo12341234@yahoo.co.jp](mailto:nobuo12341234@yahoo.co.jp)



### テニス同好会

世話役 川上（機械 S50）

コロナ禍で中断していましたテニス同好会を、昨年より活動を再開しましたが、今年は余りの暑さと、メ  
ンバーの高齢化も考慮し、まだ活動出来ていません。

同好会の練習は基本的には2ヶ月毎の第4火曜日 13:00~15:00 予定です。

興味のある方は、初心者でも大歓迎ですので、ご家族の方も含め自由にご参加下さい。次回未定です。



TEL : 090-9276-0726

場所 ; 「パナソニックリゾート大阪」 吹田市青葉丘南 10 番 1 号 [TEL:\(06\)6877-0111](tel:0668770111)

- 電車利用 : 最寄駅 大阪モノレール・宇野辺駅から徒歩またはタクシー  
JR 茨木駅から徒歩またはタクシー。

- 車利用 : 最寄 IC 名神高速・吹田 IC



### ゴルフ同好会

世話役 鈴木（精密 S45）、船田（機械 S42）

#### 第25回関西支部ゴルフ大会

記（鈴木（孝）、ひと言：伊勢山）

約2年間コロナの影響で開催されていなかったゴルフを  
昨年春実施し、今回くずはゴルフリンクスで5月12日晴  
天に恵まれ実施致しました。場所は、京阪電車樟葉駅の  
近くで、フラットなコースの河川敷で、乗用カート乗り入れ  
の高齢者向きのゴルフコースです。

位 及川さん、ベスグロは、新田さん（エイジシュートに  
1打不足）のグロス84の素晴らしいスコアでした。今回  
は、約2年ぶりのゴルフで伊勢山さんが、往年の飛距離  
で優勝され、メンバーとし大変嬉しく思います。

参加者は（敬称略）新田陸夫（金 S37）、及川紘  
（金 S38）、伊勢山宏（化 S40）、黒澤清隆（精  
S40）、船田順久（機械 S42）鈴木孝三（精 S45）  
村田健吾（電 S51）7名参加でした。絶好のゴルフ日  
和に恵まれ、優勝 伊勢山さん、準優勝黒澤さん、3

コンパルムで軽食、表彰、優勝者のコメント、久しぶり  
の対面懇親を深め秋の再会とお互いの健康をねがい別れ  
ました。

優勝した伊勢山さんをお願いして、「ひと言」をお願い致  
しました。（記 鈴木）

「ひと言」 伊勢山

3月に鈴木さんから関西支部のゴルフ会を5月に計画  
しているのですがとの連絡を頂きました。ここ2年ほど  
体調不良が続いており、ゴルフをしたのが1年半前で体力  
不足の身でまともにラウンド出来るのか不安一杯でしたが  
樟葉リンクス CC は電動カートがコース内を自由に走れる  
ので楽ですよ、との言葉で、それじゃメンバーに入れて置い

て下さいと返事しておいたのです。当日のキャンセルとか、  
途中でのギブアップとかをするかも知れませんがその時はど  
うか許して下さいとお願いしておきました。前日当日と何と  
かプレー出来そうな体調でしたので不安を抱えながらも  
コースに向かいました。さてまともに当たるかどうかの第一打  
でしたが、真っ直ぐに飛んでくれましたのでヤレヤレと胸をな

で下ろした次第です。

結果的に何とか無事に最後までプレーすることも出来、スコアも上出来の 99 でしたので大満足の日でした。表彰式でまさかの優勝との事にはビックリ信じられませんでした。小生より良いスコアの方が殆どでしたので今回はハンディに恵まれ、ラッキーな優勝でした。この会での優勝は約 15 年前の第一回大会以来の 2 回目となりました。過去

には上出来のラウンドも何回か有ったのですがその時はハンディに恵まれず、優勝は、ずーと縁遠い存在だったのです。

さて今回お世話頂きました鈴木さん、船田さん、お元気な先輩の新田さん、及川さん、同期の黒澤さん、久しぶりに関西に戻ってこられた村田さん、楽しい一日を本当にお世話になりありがとうございました。ひと言が長くなってしまい申し訳ありません。



集合写真



及川さん 伊勢山さん 黒澤さん

鈴木様ゴルフコンペ  
＜ネット成績表＞

コース名：くずねゴルフリンクス  
参加人数： 10名  
種別：パブリック

順位	氏名	総打	IN	ブリス	総得点	ネット
優勝	伊勢山 宏	49	50	99	25.20	73.80
準優勝	黒澤 清隆	47	49	96	20.40	75.60
2位	及川 龍	48	46	94	18.00	76.00
3位	村田 謙吾	43	51	94	18.00	76.00
5位	鈴木 幸三	48	45	93	15.60	77.40
8位	新田 健夫	42	42	84	6.00	78.00
9位	船田 順久	54	53	107	24.00	83.00

スコア

## ウォーキング同好会

世話役 柳沼

余りの暑さとそれが収束しないので活動不可の状態が続いております。目途がつき次第、HP やメール、電話で連絡させていただきます。ハイキングやウォーキングが好きで、何等かの形で世話、アドバイスなど関わっていただけの方がおられましたら、編集後記に記載の支部事務局のメールアドレスに連絡いただけたら、ありがたいです。よろしくお願ひします。

## 大学の話

茨城大学のホームページに掲載されている話題より、以下の内容について、抜粋してお伝えします。

**1. 茨大大学院理工学研究科の遠藤克彦教授が設計した大阪中之島美術館が「JIA 日本建築大賞」を受賞**  
建築家である遠藤克彦・大学院理工学研究科（都市システム工学）教授の設計による大阪中之島美術館が、日本国内の特に優秀な建築作品に授与される「JIA 日本建築大賞」（2022 年度）を今年 4 月に受賞しました。同美術館の設計にあたっては、2016 年から設計コンペが行われ、3 度にわたる審査の結果、遠藤克彦教授の提案が選ばれました。遠藤教授は「今回の受賞をきっかけに、建築の力をより多くの方に知ってもらえればと思いますし、自分自身もさらに良い建築をつくっていきたいと思います。」と、コメントしています。 <https://www.ibaraki.ac.jp/news/2023/07/11012048.html>

（写真撮影：1、2 枚目は上田宏氏、3 枚目は Neoplus Sixten Inc.）



大阪中之島美術館



大阪中之島美術館  
内部



遠藤克彦教授



## 2. 茨大大学院・理工学研究科の鳥養祐二教授が水産物に含まれるトリチウムの計測の簡易化方法を開発

大学院・理工学研究科の鳥養祐二教授は、福島第一原子力発電所のいわゆる「処理水」の海洋放出に関連し、従来は約一ヶ月を要していた水産物に含まれるトリチウムの測定時間について、基準値より少ないことを確認するだけなら大幅な時間の短縮が可能として、約 1 時間で測定できる新たな計測方法を開発しました。鳥養教授は、できるだけ多くの人々がトリチウムの計測をできるようになって欲しいと考え、この技術をオープンにしています。 <https://www.ibaraki.ac.jp/news/2023/08/219012079.htm>



(参考・HHK ニュース HP 今年 7 月)

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/mito/20230706/1070021401.html>

## 3. 茨大農学部産の雌牛が家畜市場で初めて最高値に

<https://www.ibaraki.ac.jp/news/2023/05/09011978.html>

農学部附属国際フィールド農学センターで飼育された雌牛が、昨年 12 月の JA 全農いばらきの家畜市場で初めて最高値を付けました。その日出荷された約 150 頭の雌牛の中で断トツの 1 頭となり、「横綱」の番付を獲得しました。一般に、研究・実習目的となる大学飼育牛では、良質の牛は育て難いとされる中、様々な取り組みの結果として最高値を実現しました。



## 4. その他トピックス

・大学院理工学研究科 博士前期課程 2 年 窪前海斗さん（指導教員：辻村壮平准教授）が、今年 6 月、日本騒音制御工学会時田保夫研究奨励賞を受賞。学生の受賞は快挙。

<https://congratulations.admb.ibaraki.ac.jp/2023/01/27000835.html>

・人文学部卒の作家・高野史緒さんが、新刊『グラフ・ツェッペリン あの夏の飛行船』（ハヤカワ文庫 JA）を今年 7 月に発売。故郷の土浦を舞台とする青春 SF で、茨大生の登場人物も。

<https://www.ibaraki.ac.jp/news/2023/08/21012074.html>



## 支部会員の皆様 会費納入、ご寄付のお願い

～現在の支部活動継続のためにさらなるご協力を～

幹事一同、会員の皆様がこの多賀工業会関西支部に参加して良かったと感じられるように、出来るところから一つずつ取り組んで行きますので、今後とも支部活動継続の為に、年会費の納入とご寄付のご協力を宜しくお願いいたします。

また、支部活動内容は、多賀工業会のホームページ内にある関西支部用の箇所に掲載して参りますので、そちらをご覧ください。総会や同好会へどしどし参加して頂きますようお願いいたします。

多賀工業会関西支部 支部長 川上 啓二（機械 S50）



## 編集後記

コロナ禍も落ち着きつつあり、来賓を迎えての総会を開く事が出来ました。今回は、料理はバイキングに出来、飲む方は早い速度で空いて行きました。皆さん若いです。また少ない研究費で研究に取り組んでいる学生の皆さんに同窓会で支援をもう少し厚くしていく必要があるのかな、とも感じました。60 号記念の寄稿で、伊勢山さんが述べておられましたように、平成以降の卒業生の方も、一度気楽に総会に参加してみてください。



行正（機械 S54） 事務局連絡先：[tagakansaisibu@gmail.com](mailto:tagakansaisibu@gmail.com)

関西支 HP：[多賀工業会関西支部 | 茨城大学工学部同窓会 \(ibaraki-univ.jp\)](https://www.ibaraki-univ.jp)